

# 健康づくり推進プラン

健康推進課(☎区内線2361)

## 「プラン」の目標

### 総合目標

総合目標として、以下の3つを設定し、これらを通じて西東京市民の「生活の質の向上」を図っていきます。

- 市民が健康で自立して生活できる期間を延ばすこと(健康寿命の延伸)
- 自分が健康であると感じられる市民を増やすこと(主観的健康感の向上)
- 健康な家族の形成を支援すること

### 目標体系

総合目標のもとに、「成果目標」、「市民の行動目標」、「行政の施策目標」の3つの観点から、具体的な目標を設定しました。また、目標の達成状況を把握・評価できるよう、目標ごとに達成度を評価するための指標も設定しています。

#### 成果目標

市民や行政の取り組みによって実現することを目指す、具体的な成果の到達点です。生活習慣病等の疾患の予防や介護予防、危険因子(リスク)の減少の観点から、7つの柱に分け、目標を設定しました。

#### 市民の行動目標

生活習慣の改善の観点から、市民が主体的に取り組むべきことがらを、生活場面ごとに、栄養・食生活、休養・ストレス対策など7つの柱に分けて目標設定しました。

#### 行政の施策目標

市民の主体的な健康づくりの取り組みを支援する観点から、行政が行うべき保健サービスや環境整備等の施策として、健康診査・検診の充実、子どもの健康に関する教育・相談など8つの柱に分け、目標を設定しました。

## 「プラン」の推進に向けて

「健康づくり推進プラン」に定めた目標の達成に向けた取り組みを着実に推進していくため、以下のような推進方策を定めます。

- 市民、市民の健康に係わる関係者、市の間で「プラン」を理解・共有する
- 必要な財源の確保に努める
- 進行管理の仕組みをつくる
- 情報提供の充実など、すべての施策目標に横断的に関わる事項に取り組む

## 「健康づくり推進プラン」の基本的な考え方

### 健康づくりの理念

健康は市民自身が自ら守り、かつ増進することが基本です。市民自らが主体的に健康の維持・増進に取り組み、市はその取り組みを支援します。

「身体(からだ)」の健康だけでなく、「心(こころ)」の健康にも配慮し、心身両面からの健康づくりをめざします。

常に自らの健康を意識し、生活習慣や行動をコントロールできるようにするため、子どもから高齢者までのライフステージ(人生の段階)に応じた市の保健事業を活用し、生涯を通じた健康づくりに励みます。

### 目的(めざす将来の姿)

西東京市を、「すべての市民が、乳幼児期から高齢者になるまでの一生を通じて健やかで心豊かに生活できる活力ある都市(まち)」としていくことをめざし、市民、市民の健康に係わる関係者、そして市が、ともに健康づくりに取り組むことを目的とします。

### 計画期間と見直し時期

国や東京都の計画にあわせ、平成16年度から22年度までを計画期間とし、平成21年度以降に計画実施期間の総合的な評価を行った上で、見直しを図る予定です。

### 健康づくりに関わる各主体に期待される役割

健康づくりの主体は市民です。市民一人ひとりがその重要性を理解し、家庭・学校・職場などの日常生活の場で、継続的に健康づくりに取り組むことが基本となります。また、健康づくりには、市民のほか、生活の場を構成する家庭・学校・企業(職場)、日常生活に必要な商品・サービスを提供する市内の民間事業者、専門的なアドバイスを提供できる医療機関や医師等の専門家など、多くの主体が関わっています。

市は、市民や市民の健康に関わる関係者の連携・協働を支援する役割を担います。

## みんなで選ぼう！ 新しい市のシンボル

### 市の木 市の花 (仮称)合併記念公園の名前

名称を今年度中に決定したいと考えています。東京ドームのグラウンド部分約3.5倍の広さをもつこの公園に、皆さんはどんなイメージをお持ちですか。すでに、市の木・市の花についてはアンケートを、公園の名称については公募を行い、多くの皆さんから多数のご意見を頂きました。今回、その中から、下記の候補を選出し、あらためてアンケートを実施するものです。市のシンボルとしてふさわしいと思う、木(1つ)、花(季節ごとに1つずつ)、公園の名称(1つ)をお選びください。応募をお待ちしています。

市の木候補	きんもくせい	けやき
市の花候補	さくら	はなみずき
ボプラ		
市の花候補	たんぽぽ	つつじ
パンジー		
夏	あじさい	ささす
秋	ききょう	菊
冬	コスモス	
梅	すいせん	
福寿草		
公園名称候補	合併記念公園	
西東京いこいの森公園		
西東京中央公園		
ひばり公園		
やすらぎの森公園		

**投票資格** 市内在住・在勤・在学の方

**投票会場** 田無庁舎2階案内、保谷庁舎1階案内、アスタ専門店街2階センターコート、バルコひばりが丘店5階レストラン街、田無郵便局、保谷郵便局、保谷公民館、芝久保公民館、柳橋出張所、下保谷図書館

**市民まつり(11月8日・9日開催)** 会場内特設会場

**投票方法** 各会場に備え付けのアンケート用紙に、住所・氏名を明記し投票(1人1回)

**郵送(〒188 8666西東京市役所田無庁舎企画課)**、電子メール(市ホームページから)でも受け付けています。

**投票期限** 11月9日(日)

**発表** 平成16年2月1日

号の市報で発表予定

投票した方全員の中から、抽選で50人の方に記念品を差し上げます。当選は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

企画課(☎区内線111)



市では、千葉県勝浦市と友好都市提携をすることとなり、10月22日に友好都市提携盟約書の調印を勝浦市で行いました。当日会場となった日本武道館の研修センターでは、両市の関係者約100人が見守る中、両市長が盟約書に調印後、市の旗が交換され、和やかなうちにも厳粛に調印式が行われました。

生活文化課(☎区内線1411) ◀調印式で握手をする両市長

## 友好都市提携にあたって

### 勝浦市長

かねてより話し合いを進めてまいりました。西東京市と勝浦市との友好都市の提携を結ぶことができ、これは、大変喜ばしいことです。西東京市の皆様にとり、一言ご挨拶を申し上げます。

### 藤平 輝夫

し、都心から約75キロ圏内に立地、地域は黒潮の北上する太平洋に面し、自然景観に恵まれた美しい海岸線と緑の山々や初力ツオの水揚げ日本一を誇る漁港、400余年の伝統を持つ朝市など、活気と人情味豊かな気風を有し、昭和33年10月1日、千葉県下18番目の市として誕生いたしました。

### 西東京市長

このたび、本市と千葉県勝浦市との間で、友好都市の盟約を結んだことをご報告申し上げます。

### 保谷 高範

6倍にあたる94・96平方キロ、人口は約8分の1にあたる2万3千人で、外房の温暖な自然環境を生かした観光と、カツオの水揚げ日本一を誇る漁業に代表される街です。また、400余年の歴史をもつという朝市

## 10月22日 勝浦市と友好都市提携盟約の調印を行いました

勝浦市は、市民と行政が一本化した「市民が主人公」を基本理念に生活環境、社会福祉の充実や教育文化、市民生活の向上、まち全体の活性化など魅力あるまちづくりに取り組んでいます。また、地域特性を活かした催しものでは、市民皆さんの支援のもとカツオまつりやビックひなまつり、若潮まつり、いんべやあフェスタ勝浦など県内外から多くの観光客が訪れ、市内は活気にぎわいを創出しています。

も、まちの賑わいを創り出しています。

西東京市では現在、福島県下郷町、山梨県須玉町と姉妹都市の関係をもっており、すがいすれも内陸部であり、海のある都市との交流を望んでおりましたところ、田無神社の彫刻と勝浦市上本町屋台の彫刻の作者が、江戸時代の名工、嶋村俊表とむらしゅん(びょう)であるという縁を契機として、友好都市の盟約を結ぶことになったものです。

今後、教育・文化・福祉・産業などあらゆる分野での交流を図り、両市民の友好と理解を深めてまいりたいと考えております。